

海外自治体幹部交流協力セミナー2024（ロンドン事務所管内）

事業概要

地方交流事業テーマ：未来世代へ続く持続可能な都市づくり

海外参加者数：8名

Jim Jones（ジム ジョーンズ）
北ウェールズツーリズム CEO
Alice Peck（アリス ベック）
ウェールズ政府 経済・エネルギー・運輸グループ 公正労働 現代奴隷・労働者の権利担当 シニアマネージャー
Ben Wong（ベン ウォン）
ウェールズ政府 国際貿易政策 工業製品貿易部門の長
Bethan Cable（ベザン ケーブル）
ウェールズ政府 経済、エネルギー、企画 国境通信担当リーダー
Joshua Vuglar（ジョッシュ バグラー）
ウェールズ政府 経済・エネルギー・運輸グループ 現代奴隷・労働者の権利部門の長
Luke Michaelides（ルーク マイケリーデス）
イギリス国家統計局 消費者物価指数開発部門の長
Jade Viczko（ジード ヴイツコ）
ウェールズ政府 国際貿易政策 農産物・食品上級マネージャー
Ronan West（ローナン ウェスト）
ウェールズ政府 ウェールズ医療監督局 戦略、政策、広報 コミュニケーション担当

日程：

月日	内容
1/13(月)	○来日、オリエンテーション
1/14(火)	【東京セミナー】 ○講義：日本の地方自治（明治大学 木村俊介教授） ○都内視察（浅草） ○クリア主催歓迎レセプション
1/15(水)	【移動／大分県における地方交流事業】 ○大分県施策説明、副知事表敬 ○視察：大分県立美術館（OPAM） ○大分県主催歓迎レセプション
1/16(木)	【大分県における地方交流事業】 ○視察：立命館アジア太平洋大学（APU）、太陽の家、三菱商事太陽、竹細工伝統産業会館 ○別府市副市長表敬
1/17(金)	【大分県における地方交流事業】 ○視察：安心院町グリーンツーリズム研究会、農泊受け入れ農家、宇佐神宮

	○帰国前意見交換会 ○帰国前夕食会
1/18(土)	○東京都へ移動後、自由行動
1/19(日)	○帰国

【 1月13日 (月) 】

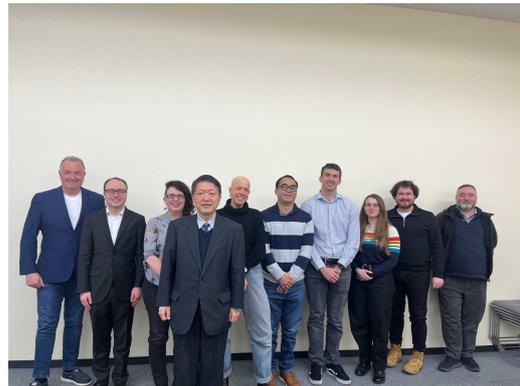
参加者来日

ホテルにてセミナー概要の説明や事務連絡を行った。

【 1月14日 (火) 】

(1) 講義：日本の地方自治

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 木村俊介教授による講義を受講した。参加者からは、自治体の権限やオーバーツーリズムに対する取り組み、観光税などについていくつかの質問があった。



(2) 浅草：風呂敷体験

午後は浅草を訪問し、日本の伝統的な生活文化の一つであり、SDGsの観点からも再利用可能なエコグッズとして見直されている風呂敷文化を体験した。



(3) クレア主催歓迎レセプション

新宿ワシントンホテルにて開催。参加者8名のほか、クリアから交流支援部長をはじめロンドン事務所赴任予定者など9名が参加した。



【 1月15日（水） 】

(1) 視察：大分県へ移動・県施策説明

大分県へ到着後、県の国際政策課の職員による行政説明が実施され、大分県の概要（人口や文化、産業など）や国際交流の取り組みについて紹介をいただいた。参加者からは、大分県の観光施策や課題等について質問があった。



(2) 大分県副知事表敬

施策説明を受けた後、大分県副知事への表敬が行われた。副知事からは2019年のラグビーワールドカップを契機にはじまった大分県とウェールズとの関わり、大分県立美術館（OPAM）とウェールズ国立博物館の交流や学生交流などについてお話があった。



(3) 視察：大分県立美術館（OPAM）

その後、大分県立美術館（OPAM）で行われている「生野祥雲齋展」を視察した。別府市出身で、「竹芸」分野初の人間国宝に認定された生野祥雲齋の作品を通じ、参加者は竹工芸の奥深さに触れることができた。



(4) 大分県主催歓迎レセプション

ホテル日航大分にて、大分県主催の歓迎レセプションが行われた。企画振興部長の挨拶と共に暖かい歓迎を受けた。大分県産の焼酎や郷土料理が振舞われ、参加者は最後まで楽しい時間を過ごした。



【 1月16日 (木) 】

(1) 視察：立命館アジア太平洋大学 (APU)

午前中は、立命館アジア太平洋大学 (APU) を訪問した。学校概要についての説明を受けた後、インドネシア、タイ、マレーシアから留学している学生と交流し、APUに通うことで得られるグローバルな経験について話を伺った。また、校内を案内していただき、世界中から集まる学生をサポートする学習環境に参加者は感銘を受けていた。



(2) 視察：太陽の家、三菱商事太陽株式会社

午後からは、社会福祉法人 太陽の家を訪問した。1965年の創立以来、「保護ではなく機会を」という理念に基づき、多くの人の社会復帰を支えてきた太陽の家の活動について説明を受けた後、障がいを持つ方も多く働く三菱商事太陽株式会社を訪問し、参加者は、誰もが働きやすい職場の実現に向けた工夫を学んだ。



(3) 視察：竹細工伝統産業会館

太陽の家、三菱商事太陽株式会社の視察後、竹細工伝統産業会館を視察した。竹鈴の製作を体験した後、竹材資源の有効活用や伝統技術の保護育成等に取り組む別府の竹細工についての説明を受け、参加者は別府市の地場産業として定着してきた竹細工の魅力を感じることができた。



(4) 別府市副市長表敬

その後、別府市副市長への表敬が行われた。副市長からは2019年のラグビーワールドカップの際のウェールズ戦の盛り上がりや別府市内の観光の現状、イギリスへの学生の派遣事業などについてお話があった。



【 1月17日（金） 】

(1) 視察：安心院町グリーンツーリズム研究会

午前中は、宇佐市安心院町にある安心院グリーンツーリズム研究会を訪問した。1996年の発足以来、「農村民泊」に全国で初めて取り組み、グリーンツーリズムの先駆けとして注目を集めてきた会の取り組みについて説明を受けた。参加者からは農泊実施にあたる規制や大学との連携等について質問があった。



(2) 視察：農泊受け入れ農家視察・昼食

安心院グリーンツーリズム研究会の訪問後、実際に農泊の受け入れを行っている農家を訪問し、昼食をいただいた。参加者は、日本の家庭料理や家屋、あたたかいおもてなしに感銘を受けていた。



(3) 視察：宇佐神宮

午後からは、日本三大八幡宮の一つである宇佐神宮を視察した。今年で創建から 1300 年を迎える長い歴史を感じるとともに、豊かな自然の中で散策を楽しんだ。



(4) 帰国前意見交換会

セミナーの締めくくりとして帰国前意見交換会を開催した。参加者からは、「日本の政治の仕組みや機能を学ぶことができた。」「行政機関や大学、民間企業、農家等、様々な分野の方を訪問し、それぞれが連携して取り組んでいることを見ることで、多くのことを理解することができた。」「ウェールズと比較して、まちづくりに長期的な視点での投資がされているなどの違いを学ぶことができた。」などの意見があり、セミナーに参加したことで得られた多くの学びがあったことが感じ取れた。

また、「ウェールズと日本が互いについて学び続けることで、力強い両者の関係を築いていきたい。」との発言もあり、セミナーが両者にとって貴重な交流の機会となったことを確認できた。



(5) 帰国前夕食会

最後に、大分県職員と帰国前夕食会が開かれた。大分県国際課のご担当者に参加いただき、参加者は大分県での滞在について振り返りながら、楽しい夕食会を過ごすことができた。

【 1月18日 (土) 】

東京へ移動後、自由行動

【 1月19日 (日) 】

参加者帰国